

令和2年度 大阪府立成城高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和2年11月30日(月) 14:00~15:30

2 場所 視聴覚教室

3 内容

(1) 学校長挨拶

(2) 実施要項第七条(保護者からの意見)に係る報告 意見なし

(3) 本校の現状報告と取組み

① 本校のかかえる諸課題について(取組み報告)

- ・遅刻、欠席数について 新型コロナの影響で増加傾向
- ・体育祭は午前中に実施 150名の来場者
- ・クラブ加入率は57%(昨年61%)
- ・中学生対象の学校説明会は2部制で実施

② 令和3年度使用教科図書を選定及び採択について

③ 学校教育自己診断について(質問項目の確認)

④ 授業アンケート結果について

⑤ その他

- ・進路指導 求人数はコロナの影響もあり減少。就職1次内定率は67%。
- ・生徒指導 SNSの問題がある。アップロードすることに危機感がない。

(4) 協議

- ・入学後に、卒業後の進路へつながる系列を自分自身で選べるところが成城のいいところである。今後も、学校生活において自分で考える機会を作してほしい。
- ・自分の子どもが早くから準備をして進路が決定したので、職業体験は早い時期から(中学生くらい)、必要だと実感した。
- ・生徒への就職指導をするときのその方法はどのようなものか?
→自発的に求人票を探す、面接練習に取り組む、専門学校の無料講座等を活用する等、自主的に頑張れるよう、支援している。その指導にのれた生徒は、希望の企業への合格等、成果を出している。
- ・コロナ禍の社会で、コロナで救われた生徒もいる。成城高校において、コロナにかかわることでポジティブな話があれば教えて欲しい。
→今現在、生徒にとってポジティブな話は見当たらない。今後、このような状況を経験したことが活かされるような教育の必要性があると考えている。
- ・学校教育自己診断の質問項目は出ているが、結果はどうなっているのか
→12月初旬に実施する予定、第3回学校運営協議会で報告する。
- ・授業アンケート結果については、各々資料があれば、わかりやすい。
- ・SNSの問題が報告であがっていたが、携帯電話やSNSについては、中学校でも学校によってルールが違う。ルールの厳しい中学校もあればそうでない学校もある。様々な中学校から集まってくる高校では、生徒の認識にも差があるように思う。
- ・SNSの問題において、子どもたちが学校を卒業して社会に出た時は、社会人としてみなされ、誰も指導してくれない。SNSにおける危険性や個人情報、誹謗中傷等が、理解できるような人間の育成を、教職員にお願いしたい。
- ・先生同士が授業をお互いに見学し、授業力向上を図る機会はあるのか?
→年に二回、授業見学週間を設けている。今年度は第1回を11月に実施し、第2回を来年1月に予定している。10年目教員、初任者教員の研修とコラボして実施している。
- ・コロナの影響もあって、遅刻や欠席数は増加傾向にあるということであるが、具合が悪くて長欠の生徒は増えているか?
→数は増えているが、対応は教育庁からの指示に従っている。
- ・次回は令和3年1月下旬を予定。